

8月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/08/01 (金)	東京は日経平均が300円近く下落したことを受けて円買い優勢。一方、豪ドルも円を弱含み。欧米は米経済指標を受けて一喜一憂。ただ注目の雇用統計は良好でドルの下支え要因。	・GMが決算で155億ドルの損失発表 ・アマゾンが14億ドル分のCDO保障契約を解除 ・7月の米失業率5.7%、同非農業者雇用数 5.1万人、同ISM製造業景気指数50.0、6月の建設支出 0.4%	・デイリーテレグラフ「豪州は9月に利下げする可能性も」 ・NYポスト「リーマンが300億ドル相当の保有資産売却交渉中」 ・イスラエル副首相「イランの核開発計画進展は許しがたい」	ドル円 107.75 107.89 107.28 107.70	ユーロ円 167.89 167.93 166.99 167.61	24H 寄付 安値 高値 終値
08/08/04 (月)	東京は日経平均など株安から再び円買い優勢。しかし五輪テロ観測などが嫌気され、終盤に流れ反転。欧米は米インフレ懸念からドル買い優勢。イランリスクから一時ドルは売られるも終盤再び持ち直し。	・中国ウイグル自治区で警官十数人に死傷者 ・6月の米個人所得0.1%、同個人消費0.6%、同コアPCEデフレーター-0.3%、同製造業受注1.7%	・クライスラーフィナンシャルに対する年間信用契約が240億ドルへ縮小 ・イラン当局「300キロを射程距離とする海洋兵器を試射」 ・米政府「イランは前向きな姿勢を見せなければさらなる制裁に直面」	ドル円 107.55 108.29 107.46 108.27	ユーロ円 167.43 168.79 167.43 168.64	24H 寄付 安値 高値 終値
08/08/05 (火)	東京は豪ドル、NZドルの両オセア通貨の下落著しく、それに連れる格好で円はドル中心に小高い。欧米は米経済指標や米株高を受けてドル高。FOMC声明はやや弱めながらドル売りは限定的に留まった。	・豪州が金利据え置き、声明は「金利引き締め的な政策を緩める方向」 ・7月の米ISM非製造業景気指数49.5 ・FOMCで金利据え置き決定、声明は予想に反して若干ハ派の内容に	・NZ中銀総裁「追加利下げの余地がある」 ・前FRB議長「世界的な金融危機で今後も金融機関の破綻が続く」 ・米政府高官「イランの回答は容認できるものではない」	ドル円 108.22 108.42 107.68 108.35	ユーロ円 168.46 168.47 166.85 167.44	24H 寄付 安値 高値 終値
08/08/06 (水)	東京は米債の入札に絡む動きなどからドル小じっかり。ただ輸出企業のおfferなどが上値を抑制。欧米は欧州の景気低迷懸念に加え原油価格続落もありドルは対ユーロ中心に急騰。ドル/円も110円迫る。	・6月の景気先行指数91.2	・オバマ上院議員「ドル安がガソリン価格高要因、ドル相場が上昇すれば燃料高問題の一部は解消される」 ・フィッチ「フレディマックの優先株の格付けを引き下げ」	ドル円 108.33 109.89 108.22 109.80	ユーロ円 167.53 169.32 167.53 169.15	24H 寄付 安値 高値 終値
08/08/07 (木)	東京は強い機械受注などもあり調整的な円買い優勢。110円を前に流れ反転し109円前半へ。欧米は前日同様対ユーロ中心にドル買い優勢。また円も日本の景気低迷から弱含み推移。	・6月機械受注 2.6% ・7月の豪雇用者数10900人 ・韓国中銀が0.25%の利上げ実施 ・BOEとECBが金利据え置き ・6月の米中古住宅保留5.3%	・8月月例経済報告で基調判断が「弱含み」と下方修正される ・ECB総裁「経済成長のある程度の減速が予想される」	ドル円 109.48 109.69 109.13 109.44	ユーロ円 168.85 169.48 167.59 167.72	24H 寄付 安値 高値 終値
08/08/08 (金)	東京は前日の流れを受けてユーロ/ドル中心のドル高止まらず。ドル/円も109.95円の高値を一時示現。欧米は株式市場の強さなどもありドル続伸。対円では1/10日以来の110円台へ。対ユーロでもドル高続く。	・グルジアとロシアが軍事衝突、その後さらに戦火広がる ・北京五輪開幕 ・第2四半期米非農業部門労働生産性2.2%、同単位労働コスト1.3%、6月の卸売在庫1.1%	・蘭中銀総裁「ECB理事会は金利政策変更なしで広く合意」	ドル円 109.35 110.37 109.31 110.17	ユーロ円 167.45 167.48 165.32 165.40	24H 寄付 安値 高値 終値
08/08/11 (月)	東京はユーロ主導の展開。対ドル、円でそれぞれ100Pを超える下げ幅を記録した。また豪ドルも弱含み。欧米は露情勢が足かせとなったユーロ安が継続。対ドルでは1.50ドル割れへ。	・RBA四半期金融報告「より引き締めめでない金融政策へ移行も」 ・露中銀がルーブル防衛の市場介入 ・S&Pがフレディマックとファニーメイを格下げ、見直しもネガティブ	・露大統領「南オセチアでの軍事行動は終結が近い(ただその後の報道では停戦の行方見えず)」 ・オーストリア中銀総裁「金利に付いて満足している余地はない」	ドル円 109.68 110.40 109.55 110.05	ユーロ円 165.37 165.60 163.79 164.08	24H 寄付 安値 高値 終値
08/08/12 (火)	東京は株価動向などをにらみつつも米債の償還&利払いにともなう円転オファーなどの噂から円高。欧米は停戦合意の報道を好感したユーロの買戻し優勢。一方円は米株安などもあり堅調に推移した。	・ロシアがグルジアでの軍事行動中止を発表 ・6月の米貿易収支 568億ドル、対日 61.3億ドル、対中 214.3億ドル	・スウェーデン「ECB専務理事「欧州経済は予想以上に急速に減速している」」 ・露大統領「グルジア扮装めぐるEUの和平案を歓迎する意向」	ドル円 110.11 110.36 109.23 109.27	ユーロ円 164.21 164.42 163.04 163.10	24H 寄付 安値 高値 終値
08/08/13 (水)	東京は引き続き米債の償還オファーの円転観測などが取り沙汰される。GDP悪化も円買い優勢。欧米は発表される米経済指標や原油動向を受けて右往左往。一方、利上げ観測を受けたボンドは弱含み。	・第2四半期GDP速報値 0.6%、6月の経常収支4939億円 ・BOEインフレ報告「インフレは今後2年間で目標の2%を下回る見込み」 ・7月の米小売売上高 0.1%、同輸入物価1.7%、6月の米企業在庫0.7%	・豪中銀総裁補「豪州の住宅ローン延滞率、景気減速で上昇見込み」 ・与謝野経財相「景気の現状は弱含んでいる」 ・リッチモンド連銀総裁「米金融機関の最悪期はまだ脱していない可能性」	ドル円 109.29 109.75 108.35 109.55	ユーロ円 162.74 163.85 161.40 163.44	24H 寄付 安値 高値 終値
08/08/14 (木)	東京はユーロ圏GDPが悪化するとの噂からユーロ売り先行。しかし内容はむしろ好数字。その後買い戻しも。欧米は経済指標を受けた米スタグレーション懸念からドル弱含み。ただ米株が思いのほか堅調で下げ渋り。	・第3次産業活動指数 0.8% ・第2四半期独GDP速報値 0.5% ・第2四半期ユーロ圏GDP速報値 0.2% ・7月の米CPIは0.8%、同コアCPIは0.3%	・豪中銀副総裁「中銀は利下げを検討する状況」 ・前FRB議長「米住宅価格は来年上半期に底打ち始まる」 ・ミアボリス中銀総裁「住宅市況の停滞は継続中」	ドル円 109.19 109.99 109.19 109.73	ユーロ円 162.69 163.72 162.23 162.69	24H 寄付 安値 高値 終値
08/08/15 (金)	東京はS&P発表に加えユーロ日仲値不足などからドル高。終盤に掛けて110円を突破し、ドル一段高。欧米はNY連銀指数の好数字がドルの買い材料に。しかし対円は小動きでドル買いはユーロ中心に留まっ	・8月のNY連銀景況指数2.77、同シカゴ消費者信頼感指数61.7、6月の対米証券投資534億ドル、7月の鉱工業生産0.2%、同設備稼働率79.9	・S&P「MBIAとAMBACの保証部門を格下げ方向のクレジットウォッチから除外」 ・アトランタ連銀総裁「経済は下半期に向けてかなり弱い」	ドル円 109.78 110.67 109.63 110.50	ユーロ円 162.19 163.12 161.88 162.30	24H 寄付 安値 高値 終値

\* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで